

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 1 回	子ども部会	
日 時	平成 3 1 年 4 月 1 7 日（木） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 8 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 自己紹介		
	② 昨年度の取り組みについて		
	③ 今後取り組んでいく課題について		
	④ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 自己紹介 ② 昨年度の取り組みについて (1)医療機関への啓発（にっしん受診サポートカード） 市内小児科には直接、その他は郵送で配布。保護者へは事業所を通してお渡しをした。今後は意見を集めて適宜改善を図る。 (2)事業所見学バスツアー 就労のイメージを持っていただくために毎年実施。昨年度は 1 1 月 7 日に実施した。 (3)検討 ○特別支援教育コーディネーター研修		

特別支援教育コーディネーター研修で、事業所訪問を行ったことがある。昨年は三好特別支援学校の見学を実施。今年度も検討していきたい。

○福祉実践教室

ハッピーマップが主となり、社協が事務局として実施。小中学校へ出向いて車いすの体験や障害体験を行った。保護者に知って頂くため参観日に合わせての開催を打診したが、すべての学校では難しいとのこと。

○移動支援

ヘルパー不足で移動支援をお願いできる事業所が少ない。今後とも引き続き検討。

○取り組む課題等

相談員から挙げられる課題や部会で出た意見について、まず4つに絞って前回話し合いをした。

③ 今後取り組んでいく課題について

(平成30年度第6回子ども部会実施報告書 参照)

○幼稚園から小学校への引継ぎが少ない

【意見】日進市では就学前に学校教育課とセンターで公立保育園に訪問して把握している。みよし市ではつながりシートを作成し利用している。事前に児童について知ることができるのは良い。保育要録は公立保育園のみ作成している。2月末に連絡会をするが、園児の数が多く把握しきれないため、実際に見てみると違うこともある。口頭でのやり取りなので資料となるものがあると良いのではないか。

○安心して通える病院、歯科、美容院

【意見】校内に地図を貼って保護者からの口コミで病院やお店などの情報を載せている学校がある(他県の特別支援学校の例)。市内に歯科の認定協力医は2か所ある。センターに地図を貼り活用することは公共の施設の為確認が必要。放課後等デイサービス利用児はかかりつけ医のある方が多く、受診サポートカードについては児童発達支援利用児の保護者が持ち帰ることが多い。

○週末親子で過ごせる場所、預かってもらえる場所

【意見】愛知淑徳大学 CCC からのイベントの情報はつながりのある事業所のみ、年に2～3回連絡が来る。

	○学校での様子を知りたい 【意見】特別支援教育コーディネーターを窓口相談したり、年に1回ある保護者会で情報共有したりすることができるのでは。三好特別支援学校のスクールバスでは担任ではなく介助員が同乗することが多く、校内での様子は難しいがバス内でのことであれば事業所へ報告している。事業所の送迎で直接学校へ送迎に出向いても、対応者が担任でないこともある。1年に1回でも一堂に会して連絡会等をして顔が分かるといいのでは。長久手市の子ども部会ではサポートブック「TSUNAGU」を作成しており（じゃんぐるじむ協力）、保護者が記入する形で引継ぎカードなど学校でも利用できるシートもある。 ④ その他 ・福祉的就労説明会が5月22日（火）9時から中央福祉センターで開催される。	
今回確認事項	①	自己紹介
	②	昨年度の取り組みについて
	③	今年度取り組む課題について
	④	その他
次回検討課題	①	今年度取り組む課題について
	②	その他
次回開催日時	令和元年6月19日（水）10時～	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	子ども部会
日 時	平成 3 1 年 4 月 1 7 日（木） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	
専門部会員		
① 山田 裕子	② 岡田 美穂	
③ 野澤 宏之（欠）	④ 高寄 孝一	
⑤ 藤村 友美	⑥ 石川 潤	
⑦ 澤田 征治	⑧ 山本 健一	
⑨ 丸山 章（欠）	⑩ 岡本 裕美（欠）	
⑪ 近野 友美		

（市職員）

㊦ 信貴 朋子	
---------	--

（事務局）

㊦ 梅村 英子	㊦ 角 香織
㊦ 白井 暢子	㊦ 小島 有紀子
㊦ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 2 回	子ども部会	
日 時	令和元年 6 月 1 9 日（水） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 6 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 今年度取り組んでいく課題について		
	③ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 振り返り 別添報告書参照 ② 今年度取り組んでいく課題について (1) 学校での様子を知りたい(学校との連携) 特別支援教育コーディネーター研修 今年も開催予定だが、内容未定。学校教育課より研修内容は、部会で挙げた意見を考慮したい。 → 日進市内の福祉サービス、放デイについて知る機会を設けてほしい(ex.制度説明、事業所紹介又は見学)。事業所職員と特別支援教育コーディネーターとの顔つなぎもできるのではないかな。 (2) 幼稚園から小学校への引継ぎが少ない 就学の流れについて確認(別紙参照) 公立保育園から 4 月ごろ学校教育課に書面提出、保育要録作成、2 月の連絡会では直接学校の先生とやり取りしている。す		

くすく園以外の事業所を利用している保護者からくすく園の就学説明会に参加したいという声がある。現状、くすく園の行事のため、くすく園利用の保護者が対象。くすく園以外の児童発達支援利用者は、個別相談で対応している。

→ 来年度の就学説明会について検討していく。

(3) 安心して通える病院、歯科、美容院

サポートカードの活用状況について

配布先の病院や事業所などに FAX でアンケートを実施。内容は、利用件数、どのような方が利用しているか、活用場面、改善点、追加希望枚数。事務局が素案を作成して次回、検討する。

(4) 週末親子で過ごせる場所、預かってもらえる場所

今年度、取り組む内容が多数あるため、次年度以降、検討する。

③ その他

○ 事業所見学バスツアー

→ 事務局が素案を作成して次回、検討。見学先に新事業所を含めてほしい。学校行事と重ならない日程で実施してほしい。

○ こども課 より情報提供

議員質問の中で子ども部会に関連する内容があった。

・福祉推進本部の設置について

日進市は0歳児から身体障害・発達障害児を健康福祉部・こども福祉部をはじめ、保健センター・くすく園などの施設で手厚く支援している。こうした部署や学校を含めた組織を一括してコーディネートする本部があると、より俊敏に効率よく多岐にわたる出来事に対処できるのではないか。

《こども福祉部長》

質問にあった「福祉推進本部」に本市で最も近い体制として、子ども部会がある。この協議の場を通じてさらに連携を強化し、さらに充実した療育支援体制に向けて取り組んでいきたいと返答した。

・保育所等訪問支援について校長会、特別支援教育コーディネーター担当者会にてこども課が説明をする予定。

今回確認事項

① 振り返り

	②	今年度取り組んでいく課題について
	③	その他
次回検討課題	①	今年度取り組む課題について
	②	その他
次回開催日時	令和元年 7 月 1 7 日（水） 1 0 時～	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	子ども部会
日 時	令和元年 6 月 1 9 日（水） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	
専門部会員		
① 山田 裕子	② 岡田 美穂	
③ 野澤 宏之（欠）	④ 高寄 孝一	
⑤ 藤村 友美	⑥ 石川 潤（欠）	
⑦ 澤田 征治	⑧ 山本 健一（欠）	
⑨ 丸山 章（欠）	⑩ 岡本 裕美	
⑪ 近野 友美		

（市職員）

① 信貴 朋子	
---------	--

（事務局）

① 梅村 英子	② 角 香織
③ 白井 暢子	④ 小島 有紀子
⑤ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 3 回	子ども部会	
日 時	令和元年 7 月 1 7 日（水） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分		
会 場	障害者福祉センター 小会議室		
出 席 者	部会員 7 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 学校での様子を知りたい（学校との連携）		
	③ 幼稚園から小学校へ引継ぎが少ない		
	④ 事業所バスツアーについて		
	⑤ 受診サポートカードに関するアンケートについて		
	⑥ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 振り返り 別添報告書参照 ② 学校での様子を知りたい（学校との連携） 特別支援教育コーディネーター研修 ・ 内容（案） 先生方に福祉サービスと事業所について理解を深めていただく。今年度は日程的に放課後等デイサービス（以下放デイ）の見学をすることは難しいため、研修内容はすすく園の見学・福祉サービス全般の説明(保育所等訪問支援含む)・放デイ紹介とする。		

当日放デイ紹介は1か所5～10分で5か所の事業所を予定。部会員が在籍する放デイを中心に個別で声掛けを行う。その他の事業所（放デイ・就労支援事業所等）のパンフレットがあれば置いておき、自由に持って行ってもらおう。

- ・日時

9月～10月の午後で、2学期開始頃や10月～11月の就学時健診時期以外の日程で検討。

- ・場所

障害者福祉センター 大会議室

- ・タイムスケジュール（案）

14時：開始 挨拶

14時15分：福祉サービス全般の説明（こども課）

14時35分：放デイ紹介

15時30分：すくすく園の見学

- ・役割分担

会場設営はセンター職員で行う。部会員の方には当日出席可能な方はご参加いただく。

③ 幼稚園から小学校への引継ぎが少ない

就学までの流れ

- ・圏域市町の状況（別紙参照）

長久手市の取り組みとして、小学校の教員が次年度就学予定の園児の様子を見に行く取り組みが盛んに行われている。

- ・日進市内の取り組み

今年度秋頃、保育士が市内小学校の見学を計画している。また小学校と保育園の交流について、一部小学校独自の取り組みとして、学芸会などの行事で地域の園児を学校に招待することがある。

- ・保護者間で不正確な情報が共有されている話も聞くので、早めに正確な情報が届くと良いと思う。

来年度の就学説明会について

- ・日時

令和2年4月頃の午前で会場の空き状況を見て今後検討。

- ・場所

市民会館（小ホール／展示ホール）または中央福祉センター（多機能室）

- ・内容

市内の各小学校について学校全体や支援級の紹介、通級利用についての紹介。近隣の特別支援学校の紹介などを行う。また就学に向けて1年間の流れを説明する予定。

・周知方法

3月の広報に掲載（1月中旬に原稿締切）。詳細を記載したチラシを作成し3月に配布予定。配布先は市内幼稚園・保育園、児童発達支援事業所、小学校を予定。チラシは部会員岡田さんに作成を依頼する。

④ 事業所見学バスツアー

・日時

手をつなぐ育成会との共催で行い、今年度は11月25日（月）に実施（別紙参照）。

・ルート

9時45分：集合（市役所南側駐車場）

9時50分：出発

【訪問先（訪問順）】

・ポレポレハウス

・ハーモニー

・ひまわりの風または SOWHAT

・愛歩（昼食後説明）

・ネクストステージ赤池

14時30分：解散（市役所南側駐車場）

・ひまわりか SOWHAT について検討

ひまわりは市外になるがあるく日進赤池は日程上見学できないため、就労移行でひまわりにするか市内事業所で SOWHAT にするか検討したところ、就労移行を見学できたほうがよいのではという意見が出たため、ひまわりに打診することに。

・周知方法

10月上旬にチラシを配布する。配布場所は、学校経由で該当学年の支援級へ配布。市内の児童が在籍している特別支援学校に配布。11月の広報に掲載予定。チラシは部会員に作成を依頼する。

⑤ 受診サポートカードに関するアンケートについて

原案（別紙参照）をもとに、修正点について検討。

医療機関名は記入していただく形とする。「カードを主に見ていただいている方」を質問項目に追加し、医師・看護師・事務・その他で選択して頂く（複数回答可）。配布時期は8月～9月で返信期限は1週間とする。配布先はカードを郵送した医療機関とする。アンケートは FAX にて送信し、返信方法も FAX にしていただく。保健衛生会議にてご説明をする必要があるか、保健センターに確認をする。

⑥ その他

	特筆事項なし。	
今回確認事項	①	振り返り
	②	学校での様子を知りたい（学校との連携）
	③	幼稚園から小学校へ引継ぎが少ない
	④	事業所バスツアーについて
	⑤	受診サポートカードに関するアンケートについて
	⑥	その他
次回検討課題	①	特別支援教育コーディネーター研修について
	②	事業所見学バスツアー
	③	来年度の就学説明について
	④	受診サポートカードに関するアンケートについて
次回開催日時	令和元年１０月１６日（水）１０時～	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	子ども部会
日 時	令和元年 7 月 1 7 日（水） 1 0 時 0 0 分～ 1 1 時 3 0 分	
会 場	障害者福祉センター 小会議室	
専門部会員		
① 山田 裕子	② 岡田 美穂	
③ 野澤 宏之（欠）	④ 高寄 孝一（欠）	
⑤ 藤村 友美	⑥ 石川 潤（欠）	
⑦ 澤田 征治	⑧ 山本 健一	
⑨ 丸山 章（欠）	⑩ 岡本 裕美	
⑪ 近野 友美		

（市職員）

㊦ 信貴 朋子	
---------	--

（事務局）

㊦ 梅村 英子	㊦ 角 香織
㊦ 白井 暢子	㊦ 小島 有紀子
㊦ 森 彩	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 4 回	子ども部会	
日 時	令和元年 10 月 16 日（水） 10 時 00 分～ 11 時 45 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 7 名	市職員 1 名	事務局 4 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 特別支援教育コーディネーター研修について		
	③ 来年度の就学説明会について		
	④ 事業所バスツアーについて		
	⑤ 受診サポートカードに関するアンケートについて		
	⑥ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 振り返り 別添報告書参照 ② 特別支援教育コーディネーター研修について ＜部会員などの感想＞ ・ 顔合わせできて良かった。グループワーク形式でグループに事業所の方 1 人ずつ入ってもらった方が話がしやすくなると思う。 ・ 放デイのことを詳しく知ることができた。もっと知りたい。 ・ 参加された先生から反応が少なく、伝わっているかわかりにく		

かった。今回、講義形式で一方的な感じがしたので、グループワークが良いと思う。

- ・ 2～3年ごとに特別支援教育コーディネーターの先生も変わるので、人が変わっても続けていけると良いと思う。
- ・ 質問がしやすい工夫が必要。
- ・ 駐車場がいっぱいで溢れたので、時間の調整が必要。
- ・ コーディネーターの先生の顔がわかって良かった。
- ・ ざっくばらんに話ができるような工夫が必要。
- ・ 先生方へのアンケート結果は次回報告予定。

<課題>

来年度以降の実施について

→ 学校教育課としては、3月末までに翌年度の日時等が決まっていると調整がしやすい。夏休みであれば、事業所見学など内容の選択肢も増える。

③ 来年度の就学説明会について(案)

日時：令和2年4月24日(金)or30日(木)

場所：市民会館 展示ホール

※ 託児は研修室(実施する場合)

主催：こども課

協力：子ども部会

広報：1月 ちらし完成・配布(じゃんぐるじむ)

3月 広報掲載

<挙げた意見>

- ・ みよし特別支援学校就学までのタイムスケジュールについて説明してほしい。
- ・ 放デイ事業所のパンフレットを置いてもらえるとよいのではないか。
- ・ 放課後子ども教室、放課後児童クラブについての説明もあると良いのではないか。
- ・ 就学に向けて準備出来ていると良いことについて話をしてはどうか。(内容によっては出来ない可能性あり)
- ・ 時間帯は降園時間も考えると午前がよいのではないか。
- ・ 学校教育課としては個別相談も行っているため、説明会が必要なのかという声も上がっている。
- ・ 説明会の後に参加者の半数以上の保護者が並んで1人で質問を受けた。昨年までも1人で対応していると聞いたが、とても大変だと感じた。相談の内容は個人的なケースの話がほとんど。特別支援教育コーディネーターの先生に来ていただいて直接顔つなぎしてはどうかと意見が挙がり検討すること。
- ・ 託児は保育園説明会では設けず同会場でキッズスペースを設け

	ている。今回も同様の方法ではどうか。 <決定事項> ・日時は4月30日(木)10時～ ・放課後の情報については子育て支援課へ協力依頼する。 ・託児は同会場内にキッズスペースを設ける方向で調整する。 ・内容について次回検討する。 ④ 事業所バスツアーについて 別添ちらし参照 すでにちらしの配布や周知している。対象は<u>日進市内在住の障害のある(と思われる)お子さん(小4～中3)の保護者</u>。市外の方から参加希望の問合せがあり、来年度はチラシに明記が必要。現在、申込みはまだない。部会員の方でご協力いただける方は事務局までご連絡いただく。 ⑤ 受診サポートカードに関するアンケートについて 別添アンケート集計結果参照 <挙げた意見> ・カードについて保護者側の意見も聞いてみたい。 ・母子手帳に入るくらい小さいサイズの方が使いやすいのではないか。 ・医院にポスターが貼ってあると保護者も窓口に出しやすいのではないか。 <対策> ・サポートカードの周知をはかるため、協力医院に「サポートカード使えます」のポスターを掲示する。 ・すすく園の保護者に年に1度はサポートカードを配布して周知を図る。 ・今後、すすく園の保護者対象にサポートカードの使い勝手についてアンケートをとる。	
今回確認事項	①	振り返り
	②	特別支援教育コーディネーター研修について
	③	来年度の就学説明会について

	④	事業所見学バスツアーについて
	⑤	受診サポートカードに関するアンケートについて
	⑥	その他
次回検討課題	①	来年度特別支援教育コーディネーター研修について
	②	事業所見学バスツアーについて
	③	来年度の就学説明会について
	④	受診サポートカードについて
次回開催日時	令和元年１２月１２日（木）１０時～	
次回会場	障害者福祉センター 大会議室	

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	子ども部会
日 時	令和元年 1 0 月 1 6 日（木） 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時 0 0 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	
専門部会員		
① 山田 裕子	② 岡田 美穂	
③ 野澤 宏之（欠）	④ 高寄 孝一	
⑤ 藤村 友美	⑥ 石川 潤（欠）	
⑦ 澤田 征治	⑧ 山本 健一	
⑨ 丸山 章（欠）	⑩ 岡本 裕美	
⑪ 近野 友美		

（市職員）

㊦ 信貴 朋子	
---------	--

（事務局）

㊦ 梅村 英子	㊦ 角 香織
㊦ 小島 有紀子	㊦ 森 彩

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 5 回	子ども部会	
日 時	令和元年 12 月 12 日（木） 10 時 00 分～ 11 時 45 分		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 6 名	市職員 1 名	事務局 4 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 事業所バスツアーについて		
	③ 来年度の就学説明会について		
	④ 受診サポートカードに関するアンケートについて		
	⑤ 医療的ケア児の支援における協議の場について		
	⑥ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 振り返り ・ 別添報告書参照 ・ 特別支援コーディネーター研修について、次年度は 8 月の上旬の実施を目標に 2 月に学校側の行事予定が決まった後に日程調整を行う。 ② 事業所見学バスツアーについて ＜部会員より感想＞ ・ 実際に見てみると具体的な内容がわかった。 ・ 事前に説明するより、その場で説明をされたり、質問したりしたほうが、参加者の理解が深まるように感じた。		

- ・時間の調整が難しい
 - ・昨年度との比較が出来、放デイ利用児の保護者へ紹介するための情報を得ることが出来た。
 - ・保護者同士の情報共有の場としてもよいのでは。
- ◎ 次年度も同じ時期に開催を予定。

③ 来年度の就学説明会について

(1)タイトル：「特別な支援が必要なお子さんの就学説明会」

(2)内容：特別支援の入り口となる説明が出来るような内容にする。こども課から放課後子ども教室等の説明会の日程や申し込みの流れ、放課後等デイサービスの利用基準についてご説明頂く（15分程度）。

(3)当日資料：すすく園で実施している就学説明会と同じ形式の資料を使用する。例年各学校の特別支援学級等の情報は5月の情報を掲載しているが、今回は実施日程が4月のため前年度の情報を利用する。山本先生と協議して資料の末尾に過去に受けた質問で、頻度の高いものを **Q&A** 形式で載せてはどうか。個別相談の希望者向けの相談受付票を配布し、説明会終了後に記入して提出して頂き、学校教育課で把握して個別面談を実施する。

(4)チラシ：弟妹のプレイスペースがあることを記載する。案を作成して頂き、次の部会で検討する。参加者数を把握するためにセンターにて申し込みを受け付ける（弟妹同伴の人数も把握）。

(5)周知方法：4月号の広報に掲載する。児童発達支援等のサービスを利用している年長児にはこども課からチラシを郵送。市内外の事業所や公立保育園へは情報提供用のお知らせを送付。

<意見>

- ・特別支援教育コーディネーターに来ていただき、顔つなぎができるとういのでは。
- ・相談受付票を記入してもらい、個別相談や学校見学希望の確認をしてどうか。
- ・相談希望者がわかれば学校見学日を決めて複数で行っては。
- ・他市では学校側が個別の相談日を決めている。
- ・就学までに最低限できるとよいこと。普通級・支援級の目安を知れるとういのでは。
- ・**Q&A** をつくっては。
- ・学校の負担軽減につながるとよい。

④ 受診サポートカードに関するアンケートについて

- ・配布日：1月6日（月）から随時 提出期限：1月17日（金）
- ・提出方法はすすく園園長等と協議
- ・アンケート内容について検討。修正箇所については修正して配布。

	・ アンケート結果について次回の部会で報告。 ⑤ 医療的ケア児の支援における協議の場について（別紙参照） 改正児童福祉法により、医療的ケア児が必要な支援を受けることができるよう、地方公共団体の努力義務が示され、医療的ケア児についての協議の場として子ども部会で年 1 回以上実施することを提案し、次回 2 月に議題に挙げる了承を得た。	
今回確認事項	①	振り返り
	②	事業所見学バスツアーについて
	③	来年度の就学説明会について
	④	受診サポートカードに関するアンケートについて
	⑤	医療的ケア児における協議の場について
	⑥	その他
次回検討課題	①	来年度特別支援教育コーディネーター研修について
	②	来年度の就学説明会について
	③	受診サポートカードについて
	④	医療的ケア児における協議について
次回開催日時	令和 2 年 2 月 1 9 日（木） 1 0 時～	

次回会場	障害者福祉センター 大会議室
------	----------------

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	子ども部会
日 時	令和元年 1 0 月 1 6 日（木） 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時 0 0 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	
専門部会員		
① 山田 裕子	② 岡田 美穂	
③ 野澤 宏之（欠）	④ 高寄 孝一（欠）	
⑤ 藤村 友美	⑥ 石川 潤（欠）	
⑦ 澤田 征治（欠）	⑧ 山本 健一	
⑨ 丸山 章（欠）	⑩ 岡本 裕美	
⑪ 近野 友美		

（市職員）

① 信貴 朋子	
---------	--

（事務局）

① 梅村 英子	② 角 香織
③ 小島 有紀子	④ 森 彩

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

専門部会名	第 6 回	子ども部会	
日 時	令和 2 年 2 月 1 9 日（水） 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時		
会 場	障害者福祉センター 大会議室		
出 席 者	部会員 8 名	市職員 1 名	事務局 4 名
	※ 出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り（ 名：別添名簿のとおり） ・ なし		
報告・検討 の内容	① 振り返り		
	② 自立支援協議会の報告		
	③ 受診サポートカードに関するアンケートについて		
	④ 医療的ケア児の支援における協議の場について		
	⑤ 就学説明会について		
	⑥ その他		
提出資料	別添のとおり		
主な意見	① 振り返り 別添報告書参照 ② 自立支援協議会の報告 （１） 第 6 期日進市障害福祉計画・第 2 期日進市障害児福祉計画の策定について ・ 基礎資料となるアンケート項目について、専門用語をわかりやすい言葉にかえる、設問の追加などの意見があった。 （２） グループワーク 日進市障害福祉の強みと課題について 4 グループに分かれて意見を出し合った。（後日、意見をまとめたものを配布予		

定。)

③ 受診サポートカードに関するアンケートについて

1月はすすく園の都合で配布できず、3月にすすく園の保護者に配布、3月末締め切り予定。可能であれば、4月の子ども部会で報告予定。

④ 医療的ケア児の支援における協議の場について 資料①

医療的ケア児の現状や課題についてご意見を頂いた。

<子ども課>

- ・医療的ケア児コーディネーター研修に昨年、今年に市職員と障害者相談支援センター相談員で参加。
- ・愛知県医療的ケア児者実態調査
 - 市内の医療的ケア児全員を把握できているわけではない。医療機関にも問合わせしたが、個人情報で情報提供は出来ないとのことだった。
 - 調査は毎年実施するか未定。今後正確に更新していく仕組み作りが必要。
- ・幼稚園や保育園などで医療的ケア児の受入れの体制整備が必要と考えている。
- ・医療・教育・福祉の横の連携と子どもの成長に合わせて就園、就学等の縦の連携の充実が必要。
- ・災害対策（停電時の医療機器への対応など）

<リブレイン>

- ・2～3月に保護者と面談し、相談員に翌年度利用予定の児を聞いておおよその人数を確認して把握している。
- ・児の身体状況に合わせて事業所の棲み分けが必要だと思う。
- ・訪問看護や訪問リハビリ、地域の医療機関等と連携して方針を共有しながら役割分担していきたい。⇒ 来年度交流する機会を設けたいと考えている。

<相談員>

- ・サービス担当者会議は本来、全利用児に実施するが、今は相談員が必要と判断したり要望があった時に支援会議という形で実施している。
- ・医療機関については、相談員が病院受診に同行して情報を得ることはある。

<保健センター>

- ・医療的ケア児は、健診時に把握することが多い。
- ・転入の場合、前の市町村から連絡票で情報提供がある場合もある。

<保育園>

- ・公立園は看護師が1人配置されている。私立園は不明。
- ・医療的ケア児受入れとなると看護師の責任も重く、人材を見つけることが難しい現状がある。

<学校>

- ・小中学校には看護師がいいため、医療的ケア児受入れのための体制整備が必要。
 - ・年中年長の医療的ケア児の保護者から地域の学校に通学できるか、問い合わせが入る。
- ⇒ 今後、課題を整理して協議していく。

⑤ 就学説明会について

(1) 周知について チラシ・広報 資料②

- ・受付票も同封し、事前を書いてもらい、当日持参していただく。
- ・当日、受付票を忘れた方のために予備を置いておく。
- ・説明会の申し込み、欠席した方の受付票の提出先は障害者相談支援センターに一本化する。受付票はセンターから学校教育課へ送る。
- ・チラシは3月中旬に発送予定。すくすく園利用児はすくすくから、それ以外は、子ども課から直接郵送にて周知する。
- ・説明会に必要な資料は、事務局で印刷して郵送分は子ども課へ渡し、すくすく利用児分はセンターで作成する。
- ・チラシの修正後、部会員にメールで確認していただき、3月上旬に確定。3/26までに発送などを終了できるように準備を進める。

→ 変更

※ こども課から受付表に関する後日の連絡

受付表は事前配布をしない。当日受付で配布し、終了後提出するか後日、学校教育課に提出する。

(2) スケジュール・役割分担 資料③

司会⇒ こども課

会場準備、受付・誘導、アンケート・受付票回収、会場片付け

⇒ 子ども課、障害者相談支援センター

キッズスペース⇒ こども課 保育士など

※ 部会員について当日の参加の有無はメールで確認する。

(3) 内容について

Q&A 資料④ こども課 資料⑤ 就学相談受付票 資料⑥

- ・当日、コーディネーターの参加は難しい。
- ・Q&Aの項目は他市からも情報収集し、次回部会で再確認する。

	・当日、令和２年度にしんの福祉を配布する。 ・就学相談受付票について、内容やレイアウトについて検討し、次回部会で最終確認する。 ⑥ その他 （１）部会員の任期について 今後、部会員は３年任期になり部会長と副部会長は毎年交代する。来年度については、可能な限り現部会員に継続していただき、難しければ事務局に一報いただくことになる。 （２）子育て支援アプリ 日進市とソフトバンクが協定を締結し、子育て支援アプリを作成することになった。子どもの発達を記録していくもので具体的な内容は、これから検討していく。	
今回確認事項	①	振り返り
	②	自立支援協議会の報告
	③	受診サポートカードに関するアンケートについて
	④	医療的ケア児の支援における協議の場について
	⑤	就学説明会について
	⑥	その他
次回検討課題	①	受診サポートカードについて
	②	就学説明会について
	③	医療的ケア児における協議について

次回開催日 時	令和 2 年 4 月 1 5 日（水） 1 0 時～
次回会場	障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 6 回	子ども部会
日 時	令和 2 年 2 月 1 9 日（水） 1 0 時 0 0 分～ 1 2 時 0 0 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	
専門部会員		
① 山田 裕子	② 岡田 美穂	
③ 野澤 宏之	④ 高 寄 孝一	
⑤ 藤村 友美	⑥ 石川 潤 （欠）	
⑦ 澤田 征治（欠）	⑧ 山本 健一	
⑨ 丸山 美希	⑩ 岡本 裕美	
⑪ 近野 友美		

（市職員）

① 信貴 朋子	
---------	--

（事務局）

① 梅村 英子	② 角 香織
③ 小島 有紀子	④ 森 彩